Sanyo ONODA SMILE CITY

備えよう いのちを守るために

厚狭川（あさがわ）洪水ハザードマップ

近年、全国各地で大雨による河川の氾濫や土砂災害が頻発しています。

完全に災害を防ぐことは難しいですが、日ごろの備えを進めることにより、被害を減らすことが可能です。

大雨が降って災害が起きそうなとき、どのようにして自分や家族の命を守るのか、このハザードマップを活用して考えていただく機会となれば幸いです。

【このハザードマップの使い方】

大雨の時に自分や家族の命を守るために…

❶大雨の時に起きる災害について知っておきましょう。…… P.1-2
❷いざという時、どう行動するのか考えておきましょう。…… P.3-4
❸災害時に得られる情報について確認しましょう。…… P.5
❹今できること、日ごろの備えについて今一度確認しましょう。…… P.6

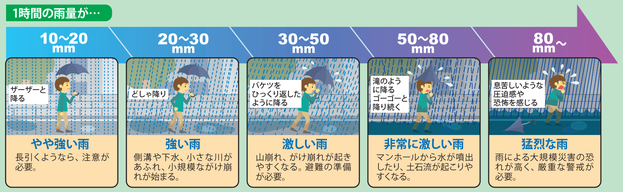
最後に、我が家の避難行動計画を書き込んで家族で情報共有しておきましょう。

山陽小野田市
令和4年（2022年）3月発行

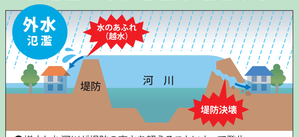
❶ 災害について知る

雨の降り方と想定される状況

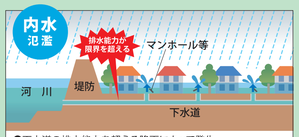
大雨や洪水は、地震とは違い気象情報などに注意していれば、ある程度予測ができます。雨の様子や今後の気象情報などを確認し、災害に備えて早めの準備をしましょう。



外水氾濫・内水氾濫の起こり方



●増水した河川が堤防の高さを超えることによって発生。
●河川の流れにより、堤防がけずられて決壊することによって発生。



●下水道の排水能力を超える降雨によって発生。
●下水道やマンホール、側溝などから水があふれ出す。
●外水氾濫と比べて、浸水規模は小さいが、いたるところで発生しやすい。

このハザードマップは、厚狭川の外水氾濫による浸水区域を想定したものであるため、中小河川の氾濫や下水道からの内水氾濫が発生した場合は、このハザードマップに示された範囲と異なる場所でも浸水する可能性があります。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生した時に住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです。

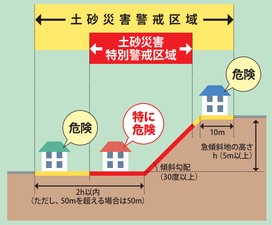
土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある地域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土砂災害警戒区域内で被害等を受けるおそれが特に高い地域です。区域内での開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

【急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）の場合】

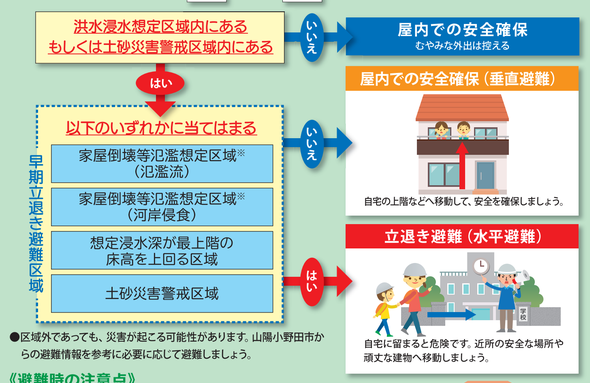


自宅や職場等の状況を確認する

ハザードマップから自宅のリスクを知り、いざという時の避難行動につなげよう。

・わが家は土砂災害警戒区域に入って　います ・ いません　。

・わが家の浸水想定は、＿＿m以上＿＿m未満です。

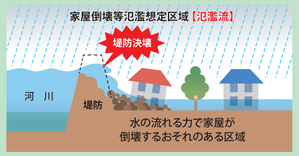


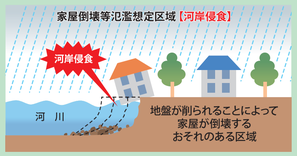
●区域外であっても、災害が起こる可能性があります。山陽小野田市からの避難情報を参考に必要に応じて避難しましょう。

《避難時の注意点》

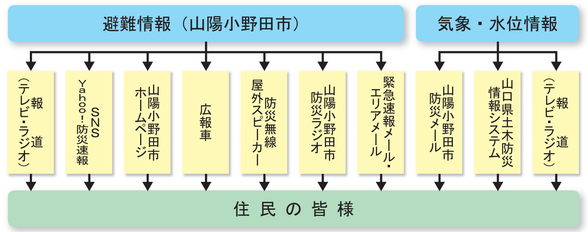
●上記フローを参考に、ご自身の避難行動について、あらかじめ検討しておきましょう。
●すでに災害が発生している場合や、外へ出ることが危険な場合は、屋内のより安全な場所へ移動するなど、命を守るための最善の行動をとりましょう。

※家屋倒壊等氾濫想定区域とは…





❸ 災害の情報を得る



雨の状況や河川水位

インターネットで確認

・山陽小野田市防災気象情報システム
https://sanyoonoda_city.mec-bousai.info/

山陽小野田市の
・河川監視カメラ
・河川水位計
・雨量計
・雨雲レーダー
・雨量予測
・天気予報
・台風情報
を見ることができます。

・気象庁
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

・山口県土木防災情報システム
〈パソコン版〉
http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/
〈スマートフォン版〉
http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/
〈携帯電話版〉
http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/

・防災やまぐち
http://www.bousai.pref.yamaguchi.lg.jp

・川の防災情報
http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do

テレビ・ラジオ

テレビのデータ放送からも気象情報や避難情報を確認することができます。

避難情報

メールで受信

・山陽小野田市防災メール
登録すれば、気象情報、避難情報等をメールで受け取れます。
登録方法：下記メールアドレス（QRコード）に空メールを送信。
e-sanyo-onoda@xpressmail.jp

その他

・防災行政無線・広報車
・テレビ・ラジオ

山陽小野田市防災ラジオ

防災ラジオではラジオを聴いていない状態でも自動起動し、緊急情報を受取ることができます。
負担金2,300円

わが家の避難行動計画

避難場所　いざという時のために、災害時の避難ルールづくりをしておきましょう。地域・家族で話し合ったルールを書き込み、みなさんで共有しておきましょう！

●一時集合場所・指定緊急避難場所・指定避難所　地図面参照

一時集合場所	指定緊急避難場所・指定避難所
❶	❶
❷	❷
❸	❸

非常持出袋　非常持出袋には両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないか、一度背負ってみましょう。

荷物の重さの目安　男性15kg　女性10kg

非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの							
✓	非常食		通帳・印鑑・健康保険証など		常備薬		懐中電灯
	飲料水		軍手		お薬手帳		乾電池・充電器類
	タオル		着替え		マスク		筆記具（油性ペン）
	携帯トイレ		ティッシュペーパー		生理用品		
	貴重品・現金（小銭を含む）		防寒具・雨具		携帯ラジオ		
乳幼児に必要なもの				高齢者に必要なもの			
	離乳食		おむつ・おしりふき		補聴器		入れ歯
	粉ミルク		おんぶひも		流動食		介護用品（車いす、杖、おむつ）など
	哺乳瓶		母子手帳など		めがね		

●わが家の備蓄品は…　P6参照

に置いてあります。

●わが家の非常持出袋は…

に置いてあります。

●家族の情報

名　前	電話番号	生年月日	血液型	その他（アレルギー・持病・常備薬・主治医等）
	携帯電話 勤務先等			
	携帯電話 勤務先等			
	携帯電話 勤務先等			
	携帯電話 勤務先等			
	携帯電話 勤務先等			

山陽小野田市では、厚狭川洪水ハザードマップの他に有帆川洪水ハザードマップ、高潮、津波、土砂災害、ゆれやすさ、ため池ハザードマップを作成していますのであわせてご確認ください。
https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/2/hazard-map.html

❷ いざという時どうするか考えておく

洪水・土砂災害（風水害）のタイムライン

避難情報がでたら速やかに避難しましょう！

日ごろから	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
情報収集につとめましょう！	気象情報に注意しよう	避難に備えよう	避難情報 高齢者等避難（市が発令）	避難情報 避難指示（市が発令）	避難情報 緊急安全確保（市が発令）
・外出前に天気予報を確認 ・最新の気象情報を入手 ・雲の流れや雨の降り方など、気象状況に応じて行動する ・地域で実施している避難訓練に参加し、避難経路やいざという時の行動を事前に確認しましょう	・災害への心構えを高めよう！	・避難場所、経路の再確認 ・非常持出袋を用意	高齢者等支援の必要な方は避難を開始！その他の方々は避難の準備をし、自発的に避難する。	指定緊急避難場所等への避難を基本とする避難行動をとる。災害が発生するおそれが極めて高い状況であり、緊急に避難する。	命を守るための最善の行動をとる。（垂直避難）
防災気象情報（気象庁・国交省・山口県が発表）	早期注意情報（警報級の可能性）	大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル3相当 大雨・洪水警報	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報	警戒レベル5相当 大雨特別警報

「いつ」「だれが」「何をするのか」

マイ・タイムラインを作ってみましょう！

あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作ってみましょう！

雨が強くなる前の時期	避難行動を開始する時期	身の安全を確保すべき時期
例）気象情報の収集をする。避難先、持出品の再確認をする。 家族と連絡をとる。	例）避難の準備を始める。祖父・祖母をつれて○○へ避難する。	例）速やかに○○に避難する。 自宅の○階に垂直避難する。	例）避難を完了させる。 情報収集を継続して行う。

避難時（洪水・土砂災害）の注意点

危険と判断したら早めに自主避難！

河川には近づかない！

履きなれた底の固い運動靴で避難！

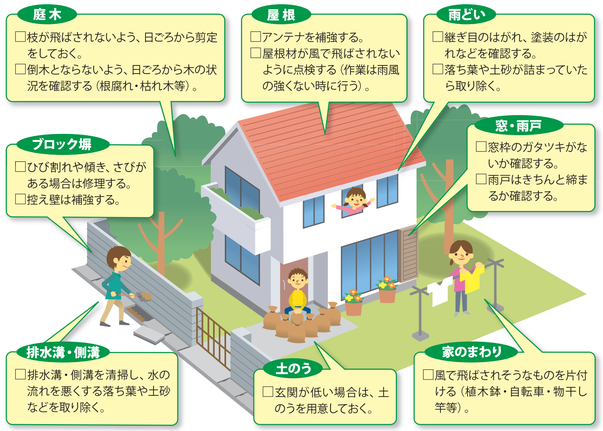
足元が見えないのでマンホールや側溝に注意！

がけの近くにはいかない！

逃げ遅れたら『命を守る行動をとる！』

❹ 日ごろから備える

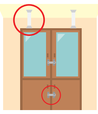
被害を軽減するために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。



家の中の安全対策

■窓・食器棚のガラスの落下対策
窓や食器棚などのガラスには、割れて飛び散らないように飛散防止フィルムを貼りましょう。

■家具の転倒防止対策
L型金具や支え棒などで固定しましょう。また、寝室には家具を置かないようにしましょう。

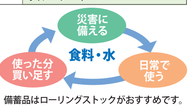


■出入口の確保
安全に避難できるように、出入口周辺には物を置かないようにしましょう。

備蓄品

災害時に自宅で生活するために必要なものは、日ごろから備蓄を心がけましょう。

✓	3日分【できれば1週間分】の食料 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、乾パン、チョコレート、お味噌汁、スープなど		ガスボンベ		ロープ
			充電器類		新聞紙
			予備電池		ブルーシート
	水（大人1人当たり1日2～3リットル）		簡易トイレ		
	ウォータータンク		ナイフ		
	消毒用アルコール		ラップ		
	体温計		アルミホイル		
	使い捨てカイロ		紙コップ、紙皿、わりばし		
	カセットコンロ		ガムテープ		



備蓄品はローリングストックがおすすめです。